

【令和2年度第3回博物館協議会 会議録】

- 1 日時 令和3年3月22日（月）午後1時30分～午後4時
- 2 会場 松本市立博物館 2階 講堂
- 3 出席 徳武委員、川船委員、百瀬委員、村井委員
米山委員、山本委員、小林委員
- 4 事務局出席者 木下博物館長、中原基幹博物館建設担当課長、百瀬庶務担当課長補佐、三木基幹博物館建設担当係長、小原事業担当係長、
- 5 傍聴者 ※公開、非公開の判断が遅れ、周知ができず傍聴者なし

6 会議の概要

(1) 開会（司会者）

(2) 博物館長あいさつ

コロナ禍で、改選後初めての会議が書面会議となり、今回初顔合わせとなる。

目的意識の不足、ニーズの把握や情報発信の不足等、様々な意見をいただいた。

会議録や委員名簿等、ホームページの更新が遅れており申し訳ない。

改選では、新たに観光活用の視点から委員を選任した。

新博物館の建設にあたり、会議の頻度が高くなるが、博物館としての社会貢献、地域博物館としての地域貢献の実現のため協力をお願いしたい。

(3) 自己紹介

(4) 出欠席の確認

笹本委員と山根委員が欠席、村井委員が途中退席の予定

(5) 正副会長選出

会長に笹本正治委員、副会長に小林磨史委員を選出

(6) 小林副会長あいさつ

観光の立場で参加することとなり、配布されたパスポートを使って施設を見学した。

無料公開中の開智学校や美術館、そして松本城だけではなく、松本にはたくさんの文化遺産があるので、市民も訪れた人も楽しめるようにしていきたい。

7 議事

(1) 新・松本市立博物館の管理運営の検討について

前回の書面会議の振り返り

村井委員 （議題と離れて）新聞報道などで博物館のあり方が疑問になっている。2年間委員を務めて大好きになった博物館なので、新しい博物館が1人でも多くの人に喜んで来ていただけるものになってほしいという思いで確認したい。十分に情報が開示されているか。会議の公開の在り方、会議録の公表のしかたなど、次回までに整理いただきたい。

徳武委員 学校教育の立場から参加。小学生には真田宝物館のバーチャル体験のような取り組みも受け入れやすい。

山本委員 それがなぜ課題なのか、なぜ問題なのかがわかりにくい。私だけならいいけど。どうい

う課題があるから事務局はこうしたい、という進め方がわかりやすい。
事務局 多くの課題を委員の皆さんと共有し、3回にわたって議論を深めたい。

現行条例の確認

条例改正が必要な部分について説明し、確認いただいた。

管理運営手法について

考えうる管理運営の手法について説明し、質問はあったが、直営と指定管理のいいところを組み合わせる方向で協議を重ねていくこととした。

休館日の設定について

開館時間について

山本委員 収益との関係をどう考えるのか。

米山委員 旧開智学校は夏季と冬季で休館日を変える運用をしているが、そのような運用を検討する。

川船委員 休館日と開館時間の問題は、特別展開催期間や観光シーズンに考えていただけるということであればそれでいい。旧開智学校、松本城、そして新しい博物館に人を集めることを考えるべきである。

百瀬委員 年中休みなし、というのは反対。休みがあつて、人も、館もリフレッシュする。

徳武委員 働き方改革、人件費など考えると、やっぱり週1の休みは必要がある。必ずしも開館したから儲けが出るということではない。休館日は入館者少ない日へ設定する。

米山委員 事務局案では終了時刻17時だが、夏場だけでも開館延長を要望する。

小林副会長 松本の滞在時間が本当に短い。私も観光代表で、早く帰ってくるとお金が消費されない。柔軟な運用できるという解釈でよいか。開館時間の設け方について、週1の休館日が条例上必要なのか、もう少し緩やかにし開館日を増やしていくのか、引き続き検討し、会長のいるなかで協議できれば。

(2) 松本市立博物館の休館について
資料に沿って報告し、了承された。

(3) 国宝旧開智学校校舎耐震補強工事について
資料に沿って報告し、了承された。